

公表日 令和6年1月19日

事業所名 どんこコース

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	●				
	② 職員の配置数は適切であるか	●			職員配置基準より多い職員数となるよう児童指導員や保育士を配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	●				
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	●			月1回職員会議を実施しています。その都度、業務内容の見直しを行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	●			年1回アンケートを行い、保護者様の意向の把握や意見をもとに改善に努めています。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	●			毎年ホームページにて公表しております。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	●				
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	●			法人全体で研修や勉強会を定期的に行い、資質向上に取り組んでいます。また職員間で研修案内を共有し声をかけあいながら参加しています。	
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			お子様の様子や、保護者様から伺った様子をもとに、支援計画の作成を行っています。また今年は計画に全職員で参画し、職員間で話し合える機会がより増えました。	
適切な支援の提供	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	●				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	●			プログラムの目的やお子様の様子に合わせて、職員の役割やサポートの仕方を話し合っています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	●			様々なアイデアをスタッフ間で出し合い、活動の幅を広げています。急な天候不良等でも、なるべく運動や体を動かす活動内容を考えて取り組んでいます。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	●				
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	●			集団活動に加え、お子様の状況に応じた個別活動を計画し作成し実施しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	●			活動前に職員ミーティングを行い、活動内容の確認や役割分担を確認しています。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	●			常に職員間で情報共有をしています。朝礼や月1回の職員ミーティングでも振り返りを行い、必要な支援や活動設定を考えています。小さなことでも気づいたことがあればすぐに職員間で共有・相談しています。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	●			日々の日誌に気になる事や良かったことなどを記録しています。翌朝に利用者の支援の振り返りを行い、改善に繋げています。	
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	●			6か月に1度モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	●			季節に合った活動や余暇活動につながるよう活動設定を行っております。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	●			児童発達支援管理責任者や関りのある職員が出席して情報共有を行っています。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	●			お迎え時に学校との引継ぎで直接確認したり、予定表を見せてもらい職員間で情報共有しています。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-		該当者がおりません。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	●				同じ法人内ではお子様の情報を共有しています。定期的に学校や他の医療機関との連絡を取り、共通理解を深めていきたいと思ひます。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	●				
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	●				
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	●				
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	●				定期的に参加し、その地域での困り感を共有・改善できるようにしていきます。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	●			日々の送迎の際にお子様の状況や課題についてお伺いする機会を設けたり、必要に応じて個別に相談の時間も設けております。またサッカーやバスケット活動では普段の様子を動画に収めて保護者様に活動内容をお伝えしています。	
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	●				ペアレントトレーニングを専門的に学んだ職員を配置していない為、支援は行えておりません。必要に応じて今後検討していきます。
保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	●			契約時に説明を行っております。また、随時不明な点は職員が説明するようにしています。	
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	●			相談に対しては都度、対応させて頂いています。	
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	●			今年度は親子BBQや親子餅つきの行事を開催することができました。今後も色々な意見の交換などができる有意義な時間を提供できるように検討したいと思います。	来年度は今年よりも多く保護者の方々の交流の場をもてるよう検討していきます。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	●			相談や申し入れがあった場合、電話やメール、面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	●			毎月のお便りの中で、行事予定や連絡事項等の情報を発信しています。天候不良などによる行事変更の連絡はメールでご連絡をしています。また今年からはインスタグラムを開設し、日々の活動の様子を発信しています。	
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	●				
	③⑦	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	●				
非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	●			年に数回地域との交流を図っております。また、事業所として大学の実習生やボランティアを受け入れています。	
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	●			衛生管理委員会を選定し、多様なマニュアルの作成・修正を行っています。	
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	●			火災避難訓練・地震避難訓練・不審者訓練を毎年実施しています。また訓練後はお便りの中でご家庭へ報告しています。	定期的に訓練等を行い、利用者や職員の防災意識を高められるよう、毎回訓練の内容を変えて工夫しています。
	④④	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	●			年に1回職員研修の中で、虐待防止のための勉強会を開催しています。また虐待防止委員会主導で虐待防止マニュアルを作成しています。	
	④⑤	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	●			身体的拘束について、対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載し保護者に承諾をもらっています。	
	④⑥	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	●			利用者アレルギー表一覧を作成し職員間で情報共有をしています。アレルギーがあれば活動には取り入れられないよう注意しています(牛乳など)	
④⑦	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	●			事故防止検討委員会を選定し、毎月の職員ミーティングで事例を共有して再発防止の検討会議をしています。	小さな気づきも大切に、すぐに職員全体で周知・共有・改善策を話し合っています。	

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。